

地域の**記録**を読み解き、近世～近代の**記憶**の継承を探る
武蔵国西部に残された多様な**記録**を博搜・検証し、形成され
た地域の**記憶**を立体的に復原。19世紀の地域の実像を明らか
にした14年におよぶ共同研究の結晶！

地域の**記録**と **記憶**を問い直す

ぶしゅうやま ね
—武州山の根地域の19世紀—

白井哲哉・須田 努 編
(筑波大学教授) (明治大学教授)

2016年4月刊行 定価(本体9,800円+税)
A5判・上製本・カバー装・416頁 ISBN978-4-8406-2208-0 C3021 ¥9800E

- 豊富な農林産品の流通を背景に、平野部や都市部と多様な関係を取り結ぶ「武州山の根地域」、武蔵国西部の中山間地域(埼玉県飯能市域)での調査成果をまとめた共同研究。
- 従来の時代区分や政治的な空間編成にとらわれず、19世紀の地域の実像を再検証。庶民の生活の具体相と変容を解明する新しい地方史・地域史像を提示。
- 「**記録**」をテーマとした第一部では、山稼ぎ以外の多様な稼ぎがあった山村の生活や、寺院の実像、村長の試みた「開発」への希望と挫折など、19世紀の庶民の日常生活を描き出す。
- 「**記憶**」をテーマとした第二部では、打ちこわし・神仏分離・戊辰戦争など、幕末から明治維新にかけてこの地で起きた変動について、庶民がどのように「記憶」しそれを共有したのか。「記憶」の様相と変容を多角的・立体的に復原する。



序章 地域の記録と記憶を問い直す意義 白井哲哉

第Ⅰ部 記録と日常生活の復原

総説一 地域の記録を再評価する 白井哲哉
 第一章 一九世紀農村の耕地景観 辻林正貴
 第二章 山村における「並百姓」の生業 山本智代
 第三章 文久三年の中山道板橋宿当分助郷免除運動と村 牛米 努
 第四章 一九世紀地方寺院組織の展開 佐藤 顕
 第五章 明治中期の地域指導者と居村の「開発」 尾崎泰弘
 〔コラム〕平沼家の家憲 本村 慈

第Ⅱ部 記憶の継承とその具体相

総説二 地域の記憶を語る意味 須田 努
 第一章 里修験から神主への転身過程 酒井麻子
 第二章 武州世直し騒動の記憶 須田 努
 第三章 地域における戊辰内乱の記憶 宮間純一
 第四章 飯能地域における在村鉄砲の動向と戊辰内乱 中西 崇
 第五章 一九世紀の神社氏子組織と由緒の再編 清水裕介
 〔コラム〕災害の記憶・記録と継承への試み 橋本直子
 あとがき 須田 努

資料調査の記録

資料調査参加者一覧

執筆者紹介

索引

申 込 書	白井哲哉・須田努編／八木書店刊		2016年4月刊行	取扱店（番線印）
	地域の記録と記憶を問い直す		〔 〕冊	
	ISBN978-4-8406-2208-0 C3021 ¥9800E 定価（本体9,800円＋税）			
	お名前（ふりがな）		TEL	
ご住所 〒		FAX		
		E-MAIL		